

H29年度動作法集中月例会報告

マネージャー：島村 隆博

サブマネージャー：出井 一紀

1 日時：H30.1/7(日)～8(月)

2 場所：宮代特別支援学校

3 総合指導：香野 毅 先生

4 メンバー構成：

＜トレーニー(11名)＞ 稜真君(22才)、弘暉君(23才)、亮君(14才)、隆作君(40才)、
潤君(37才)、暎菜さん(31才)、桂也君(25才)、大翔君(22才)、
稔浩君(19才)、拓海君(17才)、千尋君(10)

＜班長・トレーナー・サブ(21名)＞ 出井一紀、山本真澄、菅原恵、青柳憲充、
小澤さつき、内田佳奈枝、阿部康明、近藤優樹、高橋菜穂子、松島由佑果、
関洋介、内藤朋子、荒井弘恵、大野聡太、佐藤梨菜(サブ)、加藤凌(サブ)、
今西拓也(サブ)、大宮司孝次(サブ)、樋口詩織(サブ)

5 研修会の経過

＜ねらい＞2日間通いの集中月例会方式となって5年目になります。

トレーナーは、今回も月例会のメンバーではない方々が中心でした。トレーニーは月例会メンバーのベテランでした。講師に、香野毅先生をお迎えでき、心理リハのとても盛んな静岡の動作法を学ぶべく、インテークをなぞり、実技研修では、ミーティングで出た各班からの疑問についての検証や座位、立位で重力とのやりとりの仕方などを確認し合いました。

＜1日目＞90分間2回の動作法の中で、11人のトレーニー全員を、一人15分程度香野先生にインテークしていただきました。トレーニーの“やる気”の引き出しをいろいろと探してみる、トレーニーの気持ち(体験)に寄り添う…そんな関わりの中でトレーニーが生き生きとしていました。その後トレーナーが同じことをなぞってみるのですが、香野先生のようにはなかなかうまくいかない…それを実技研修でペアでいろいろと試行錯誤していました。

股関節のゆるめ課題で、仰臥位の両膝を抱え上げ、腰を浮かした状態で屈げていく、イス座位からの立ちあがりでは、重心の前方向への移動を大切にしながら…そうした工夫が印象的でした。

＜2日目＞朝一番で、立位姿勢での重心移動や座位でのタテの力の引き出し方(“ひねりあげ”)について確認しました。「重心をあえて崩すことでやる気にさせる。」「腰の反りをなくすことがねらいではなく、反らさなくてもよい身体の使い方ができるようになった結果腰を反らさなくてもいいようになる。」そうした先生のお言葉が心に残りました。

＜研修を終えて＞今年も2018年初動作法をこの月例会で迎えることができました。トレーニーは普段の1時間1回の動作法に比べてじっくり取り組み、トレーナーも新しいメンバーで今後の拡がりも期待します。「心理リハの研修は、講師の知っていることの伝達講習ではありません。私も皆さんと一緒に学び合うことができました。」…とは香野先生のお言葉です。

